

射水市立太閤山小学校活動報告

◆ なかよし橋の清掃

5月30日(日)にボランティア委員会と太閤山9丁目の児童と保護者が、なかよし橋の清掃を行いました。射水市消防署の方々も手伝いに来られ、消防ポンプ車でホースで橋に水を撒いてくださいました。子供たちが、ブラシやたわしで橋を磨くと、1年間の汚れが落ちていき、ぴかぴかのなかよし橋に生まれ変わりました。それを見て子供たちは「とってもきれいになったね」と嬉しそうに話していました。



(なかよし橋をブラシで磨いている児童)

◆ 毎月1日・15日のアルミ缶・ペットボトル回収

毎月1日・15日の朝にボランティア委員会の児童10名が、児童玄関前でアルミ缶・ペットボトルキャップの回収を行いました。前日には、回収することを全校児童に呼び掛けました。アルミ缶は射水苑に送りました。また、ペットボトルキャップは射水市環境課へ送り、再生材ポリ袋となって本校に届きました。そのポリ袋を使って、下校時にゴミ拾いをして帰りました。「毎月回収したペットボトルキャップが、ポリ袋に生まれ変わるなんてすごいね」「分別するって大事だね」と、リサイクルの大切さに気付きました。



(玄関前で回収をする児童)

◆ 来年度に向けて

今年度は、コロナの影響で、老人福祉施設への訪問や奉仕活動等、地域の人との交流を十分に行うことができませんでした。来年度は、リモートやビデオレター等、直接訪問しなくても交流できるように活動方法を工夫していく必要があると感じました。また、委員会の児童が主体となって、募金活動呼びかけたり、ポスターを掲示したりしていこうと考えています。